■別府市南立石 1997 番地の 2 ■TEL:0977-21-4040



# 震対策

地震は突然襲ってきます。日頃の備えが大切です。 家の中や周囲の確認をしておきましょう。

## 家の中の安全対策

### ■出入口

玄関などの出入口までの通路に、家具など倒 れやすいものを置かないようにしましょう。

### ■コンロ

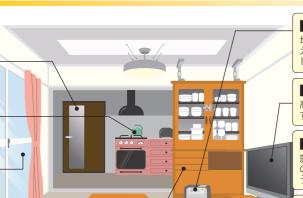
倒れやすいものや燃えやすいものを周りに 置かないようにしましょう。

### ■ガラス窓

飛散防止フィルムを張りましょう。食器棚の ガラスなどにも有効です。

### ■本棚・食器棚

背の高い家具は、L字金具や突っ張り棒で壁 に固定しましょう。また、家具の下に小さな 板などを差し込んで、壁や柱に寄りかかるよ うに固定するのも有効です。



## ■ストーブ

地震自動消火付のものにし、カーテンなど燃 えやすいものの周囲に置かないようにしま

### ■テレビ等の転倒・落下防止

高い所には置かないようにし、しっかり固定 するか、免震シートを張りましょう。

## ■寝室や子ども・高齢者の部屋

就寝中に地震に襲われると危険ですので、背 の高い家具などを置かないようにしましょ

### ■懐中電灯を設置

暗闇では安全な行動が取れません。所定の位 置に懐中電灯を設置しておきましょう。

## 屋外の安全対策

### ■ベランダ

鉢植えなどを落ちる危険がある場所には置 かないようにしましょう。

### ■窓ガラス

飛散防止フィルムを張りましょう。網入りガ ラスなら安心です。

### ■塀・門柱

ぐらつきやひび割れがないか確認し、鉄筋が 入っていない場合は補強しておきましょう。



### ■屋根

不安定なテレビアンテナは補強し、瓦などの 落下防止対策を行いましょう。

### ■プロパンガス

ボンベを鎖などでしっかり固定しておきま

商店などでは看板のぐらつきがないか定期 的に確認し、落下防止対策を行いましょう。

## 各種助成制度

### 【家具転倒防止器具取付制度】

別府市では生命及び財産を地震災害から守るため、70歳以上の高齢者のみ世帯及び 重度障がい者世帯が居住する住宅の家具に転倒防止器具を取付ける助成制度を設けています。 (申し込み・問合せ先) 高齢者福祉課 ☎21-1442 / 障害福祉課 ☎21-1413

## 【木造住宅耐震化促進事業補助金交付制度】

地震から、自分と家族の身を守るためには、自宅が地震に強いことが重要です。阪神・淡路大震災(1995 年)の際、死者の約8割が家屋の倒壊や家具の転倒による圧迫死や窒息死でした。その教訓を生かし、自宅の 耐震診断・改修を行いましょう。

別府市では昭和56年5月31日以前に着工された2階建て以下の木造一戸建て住宅の耐震診断・改修を行 う場合の費用を助成する制度を設けています。 (申し込み・問合せ先)都市計画課 ☎21-1471

車検・整備・修理・新車・中古車販売・各種保険・鈑金・塗装

# (有) 中部自動

■別府市石垣東1丁目1-25 ■TFI: (0977) 22-1644

http://tuxxxx0.wixsite.com/tovookabase

<u>, 😭</u>

コーティング専門店 **TOYOOKA BASE** 

2図 C-3

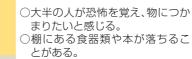
浄土真宗本願寺派

TEL:0977-22-0437 AX:0977-26-0437

## 地震の揺れと想定される被害



- ○歩行中の人も揺れを感じ、眠って いる人のほとんどが目を覚ます。 ○電灯などのつり下げ物は大きく 揺れる。
- ○座りの悪い置物が、倒れることが
- ある。



○固定していない家具が移動する ことがある。

○物につかまらないと歩くことが

- 難しい。 ○棚にある食器類や本で落ちるも のが多くなる。
- ○固定していない家具が倒れるこ とがある。



○立っていることが困難になる。 ○固定していない家具の大半が移動 し、倒れるものもある。

1図 B-6

○壁のタイルや窓ガラスが破損、落 下することがある。



- ○立っていることができず飛ばされ ることもある。
- ○固定していない家具のほとんどが 移動し、倒れるものが多くなる。
- )耐震性の低い木造建物は、傾くも のや、倒れるものが多くなる。



- ○耐震性の低い木造建物は、傾くもの や、倒れるものがさらに多くなる。 )耐震性の高い木造建物でも、まれ
- に傾くことがある。 ○耐震性の低い鉄筋コンクリート造の
- 建物では、倒れるものが多くなる。

引用:気象庁ホームページ 気象庁震度階級関連解説表を元に作成(震度0~震度3は省略)

## 地震発生時にとるべき行動

### まず自分の身を守る。

- ○机の下などにもぐって、まず自分の身を守る。
- ○すばやく火の始末をする。(揺れが激しいときは無理をしない)
- ○ドアや窓を開けて逃げ道を確保する。



## 家族や財産を守る。ただし決して無理はしない。

- ○揺れがおさまったら、火の元を確認、初期消火を行う。
- ○家族の安全を確認する。
- ○室内でもスリッパや靴をはく。(ガラスや落下物から足を守る)
- ○家屋倒壊、津波、十砂災害のおそれがある場合はすぐに避難する。

## 避難準備をする。余震には注意して!



2分

 $\overline{\phantom{a}}$ 

- ○非常持ち出し品の用意をする。
- ○余震による建物倒壊や火災に注意。
- ○ラジオなどから災害情報を入手する。
- ○電気のブレーカーを切って、ガスの元栓を閉める。

# 隣近所との協力。避難行動要支援者の安否確認を!



数時間

- ○隣近所に声を掛け合って一緒に避難する。
- ○地域の避難行動要支援者の安否を確認する。
- ○協力して、消火・救助活動を行う。
- ○倒壊しそうな危険な建物には近づかない。

## 避難生活は助け合いの心で!

## 3日 程度

- ○自宅が壊れていたら、決して入らない。
- ○大きな余震の可能性もあるので、引き続き注意する。
- ○生活必需品は備蓄でまかなう。
- ○避難所では集団生活のルールを守り、要配慮者(高齢者、障がい者、乳幼児 その他の特に配慮を要する者)にも配慮する。









14